

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和2年5月20日（水）
午後1時9分から午後2時4分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

（1）各チームの現況報告について

I C Tチーム長片岡議員：資料に基づき説明

【質疑】

大野議員：Z O O Mは会議をするなら有償版を購入しないと難しい。無償版では40分で終了してしまう。

鬼頭会長：オンライン会議については後ほど議論する。

B C Pチーム長大野議員：4月13日まで作成していた。あと1、2回の開催で策定を終えることができる。5月25日から再開する。

【質疑】

特になし。

市民参加チーム長宮川議員：次の会議の日程は未定。昨日いわくら塾子ども大学の担当者と話をした。議員から公募もという意見が出たことも踏まえ、10月を目途に仕切り直しという話をした。

【質疑】

特になし。

（2）その他

特になし。

9 協議事項

（1）各チームの編成について

鬼頭会長：現在の3チームの編成を継続するか。チーム異動の希望はあるか。

須藤副会長：B C Pチームは途中であり、継続かどうか。

鬼頭会長：B C PチームはB C Pが策定できるまで継続なので、他のチームも継続でいいか。当面は現状のチーム編成で進めて行く。

（２）市議会サポーター制度について

鬼頭会長：今年度の公募は延期と決まったが、どこまで延期するか。あまり遅くなると任期が短くなってしまうため、８・９月頃までに公募した方が良く考えるがどうか。それとも公募は行わないか。

木村議員：新型コロナウイルス感染症が予断を許さない状況なので、現状ではわからない。

鬼頭会長：毎月議題に挙げながら見極めていきたい。サポーター任期の２年縛りはなくすことで決したので、再任は尋ねていくが、全員がやってくれるのかはわからない。１期目の方にも再度連絡し、引き受けてもらえるか聞いていく。クオカードの配布と再任の確認は７月の意見交換会と考えていた。１８名なので、３班に分けて６名ずつとし、議員も３班に分けて、空間を開けて開催してはどうか。クオカードも、取りに来てくださいというのはなかなか大変なので。時期は、事務局からは７月の後半でお願いしたいとのこと。７月の土曜日の午前・午後と日曜日でどうか。

須藤議員：午前・午後・夜間なら１日で終わる。

梶谷議員：クオカードを渡すだけか。

鬼頭会長：メインは意見交換会である。

宮川議員：新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、通常、連休にはなかなか集まらない。

大野議員：７月１８日（土）でどうか。

鬼頭会長：午前１０時、午後１時半、午後７時の開催で１回９０分程度とする。どのように３班とするか。現在のチーム構成に正副議長とする。

関戸議員：意見交換会は他に謝礼を渡すことと再任者へ委嘱状交付で良いか。

鬼頭会長：そのとおり。

宮川議員：どの時間にどのチームを割り当てるか。

鬼頭会長：次回決める。

（３）今後のふれあいトークについて

鬼頭会長：行政区は、門前、北口、新柳の３地区が残っている。行政区はしばらくの間は難しいと考えている。今年には行わないこととする。年明けにまた検討する。

（４）その他

鬼頭会長：議会報告会をオンラインで行ってはどうかとチーム長の報告があった。

片岡議員：ZOOMを利用しての議会報告会ができないか会長から相談があった。6月議会終了後の6月下旬に議会報告会を開くという想定で、案を立てている。（先ほどの資料に基づき説明。）当日の資料はメールなどで先に渡すことも考えている。IDとパスワードが漏れてしまうと、誰でも入室できてしまい、妨害されるという事例もあるようだが、管理者で強制退去させることができる。無料版でも一旦解散後に再開すれば、時間は無制限で可能かと考えていたが、先ほどの大野議員の話では、再度入室が出来ない事例があったようなので、有料版の契約をしたほうが安心かも知れない。

鬼頭会長：このような時期であるから、施行的にやってみたらどうかと思い提案した。

大野議員：予算化されていないから、有料版は互助会で購入するのか、事務局は使えるかなど課題がある。

梅村議長：全国市議会議長会総会の旅費等から振替が可能ならば、それで購入できればと思う。

須藤議員：時間制限がないという有料版はどういったものか。

大野議員：ただ時間制限がないだけである。

水野議員：もし有料版の導入を考えるならば、他のアプリも検討してはどうか。無料版でも時間制限のないものもある。FaceTimeやFacebookのメッセージルーム等はIDがなくても利用できると思う。一番使いやすいものを選んだらいいのではないか。

大野議員：ZOOMは録画機能があるから議事録が取りやすい。録画機能がないものでは難しい。

木村議員：議員だけの会議ならば有効性があると思う。しかし、ふれあいトークのような場が相応しいのかと考える。ルールを決めるにせよ、運営がかなり難しいと思う。岩倉市議会への妨害はあまりないだろうが、一番は会議の雰囲気に分かりにくい。議員は会議を重ねているので、雰囲気もわかり出来るのだが。試しにやってみるのはいいが、上手くいくのか心配。

井上議員：木村議員と同意見。新聞報道でZOOMが狙われると見聞きしている。議員同士のものは賛成だが、市民も対象にするには時期尚早と考える。

大野議員：先日25人でやったが、誰が挙手しているか分からなくなってしまい、混乱した。座長がしっかり回さないと難しい。

片岡議員：今回6月にやりたい理由は、4～6月議会でのコロナ関係で議決した内容を市民に伝える必要があるため。手法は詰めないといけないが、議会として色々チャレンジすべきと考えるので、検討してほしい。

鬼頭会長：6月にオンラインで報告会をするなら今日決めなくてはならないが、現状では全員同意はできないようである。

大野議員：市民を入れて行う際に、取り回しの司会がしっかりやらないと混乱する。そこが課題である。

水野議員：話をずらして申し訳ないが、ZOOM会議の場合、市民だけでなく、議員も自宅なり別の場所で行うのか。

鬼頭会長：正副議長は市役所がいいと考えるが、議員についてはできれば自宅がいいと思うがどうか。

水野議員：市民だけがZOOMで自宅参加ならば難易度は高くない。議員もとなると、混乱する可能性を考えなければならない。

鬼頭会長：議員は市役所に集まって発信し、市民は自宅から参加という意見か。

水野議員：将来的には全て自宅からでよいと考えるが、最初はその方が実施の難易度が下がるのでは。

大野議員：ZOOM会議の意味が全くない。議会報告会はただでさえ司会の技量が問われる。誰が仕切るのか決めないと難しい。

黒川議員：各家庭のインターネット環境で通信速度に差異は出ないか。

片岡議員：家庭用のインターネット回線であればさほど差はない。携帯電話だと、3G、4Gにより多少差が出る。

須藤議員：ICTチーム長がやる気満々なので、一回やってみたら。

大野議員：まず、議員15人だけでやる等、過程を踏まないと難しいのではないか。

片岡議員：全議員でのテストは必須と思う。まずは全議員で行いたい。

鬼頭会長：では全員参加で行うことを今日決めたい。日時と内容はどうか。

大野議員：まずは全議員がZOOM会議について把握して、その後でないか。

鬼頭会長：今日は日時を決めるか、テーマを決めるか。インストールはすぐにできる。パソコンがなければスマホでも可能。まずは一度全議員でテストし、6月にもう一度決める。今年は、議会報告会で集まってもらうことが非常に難しいと思う。こういったものも使いながら一回やってみたいなと思っている。では、テストの日時はどうか。

各議員：（希望を述べ合う。）

鬼頭会長：5月26日午後1時30分からオンライン会議のテスト実施とする。話し合う内容はその場で申し出ていただく。

片岡議員：IDとパスワードは事務局からメールで伝える。

鬼頭会長：主催は会長とする。場所は自宅でも各会派室でもよい。今後の手

法はテスト会議を実施した後に議論する。

P T Aとの意見交換会について、せいじ〜るから年度内で実施の要望があるようだ。できるならZ O O Mを使って行いたい。現在、せいじ〜るで実施しているアンケート調査に多数の意見が寄せられているようだが、そういう方々と意見交換会をできるといい。新型コロナウイルス感染症関連の話ならば、早めに行った方がいいので、時期は未定であるが、6月には決めていきたい。他の団体からの要望は現在のところない。集まるのが難しいので、オンライン会議をうまく利用できれば、今年度はこれでやっていきたいと考えている。

(4) その他
特になし。

1 0 その他
特になし。